

人とつながり地域の絆をつくる

自治会活動に参加しませんか

自治会は、住んでいる地域をより住みやすくするために住民が主体となって自主的に活動している団体です。市内には、約200の自治会があり市民の約6割がいずれかの自治会に加入して、さまざまな活動を行っています。子どもも高齢者も障がいのある人もつながり、安心できる住みよい地域づくりに参加しませんか。問い合わせは市まちづくり推進課 ☎780・35333へ。

自治会とは

自治会は、住んでいる地域の特色を生かし、日常生活に密着した地域における共通課題の解決のために活動しています。

1人ではできないことを住民が協力して行うことで、安心で住みよいまちづくりに大きな役割を果たしています。

自治会の活動と役割

自治会の具体的な活動と役割は次の通り。

【防災・防犯】▽自主防災組織などによる防災訓練▽防災資機材の整備▽防犯パトロールなどにより、自分たちのまちは、自分たちで守る共助の力で災害時に備え、犯罪や事件の抑止力につながります。



親睦が深まる子どもみこし

【子どもの安全・安心・健全育成】▽登下校時の見守り▽子ども会の運営などにより、地域ぐるみで子どもたちを守り育てます。

【福祉・健康】▽高齢者の見守り活動▽いきいき百歳体操などの健康増進活動などにより、地域のつながりや支え合いで高齢者や障がいのある人も住み慣れた地域で過ごせます。

【美しいまちづくり】▽公園の日常管理や道路、側溝などの清掃▽ごみステーションの管理などにより、地域で協力し身近な場所の清掃活動で、まちを美しく保ちます。

【地域活性化・交流】▽夏祭り・餅つき・クリスマス会などの交流事業▽自治会だよりの発行や回覧・SNS・掲示板を活用した地域の情報共有などにより、イベントや活動を通じて親睦を深め、自分たちの地域を知ることで愛着が湧きます。

【行政や他の自治会との連携】▽行政情報の回覧▽行政と情報交換▽市自治会連合会への参加などにより、

より、市や他の自治会と情報交換や連携など協働することで、地域での気づきや課題の解決につながります。

【コロナ禍における活動】▽自宅でする体操を紹介▽マスクの配布▽移動販売を活用した買い物支援などにより、人との接触が制限される中、地域のつながりを途絶えさせないための工夫を行っています。

解決できた身近な課題

課題の解決などにつながった取り組みは次の通り。

【集団回収の収益で備品購入】ごみステーションのカラス被害に長年悩まされていましたが、自治会で再生資源の集団回収に取り組み、収益で丈夫な折り畳み式のごみストッカーを購入しました(左写真)。



個人では経済的負担が大きく実現が難しいことでも、地域の課題として取り組み、美しいまちを保つことができました。

活動に参加した人の声

地域で顔見知りが増え、活動を通して生きがいや、やりがいを感じた。

市立伊丹病院に設置 認知症疾患医療センター

市立伊丹病院は、10月1日に「認知症疾患医療センター(地域型)」に指定されました。

★認知症疾患医療センターとは
認知症疾患医療センターは、地域の保健医療・介護機関などと連携を図り、

★指定を受けた理由
本市は、早くから認知症診療連携システムを運用しています。

★認知症高齢者にやさしい地域づくりの拠点として
同院の特徴は、老年内科が中心となって高齢者の生活を重視

市立伊丹病院は、10月1日に「認知症疾患医療センター(地域型)」に指定されました。



認知症ケアチームのスタッフ

高齢者は無料 インフルエンザ予防接種

市は、今年度に限り高齢者インフルエンザ予防接種を無料で実施します。1人1回限り。期間などは次の通り。

【期間】 来年1月31日まで。

【実施場所】 市内定期予防接種実施医療機関(本紙5面参照)で予約を。

【対象】 本市に住居登録があり▷65歳以上▷60~64歳で、身体障害者手帳1級相当の心臓、じん臓、呼吸器の障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害がある(身体障害者手帳が診断書持参)接種希望者。

かかりつけ医が市外にある場合などやむを得ず市外の医療機関で予防接種を希望する場合、次のいずれかで事前申請を。

▷電話で高齢者インフルエンザ予防接種専用ダイヤルへ▷直接、市保健センターへ▷二次元コードから電子申請。

償還払い申請により返金します(上限あり)。事前申請をせず市外で接種した場合、返金できません。高齢者インフルエンザ予防接種専用ダイヤル ☎764-7724



新型コロナウイルス感染症 拡大防止に協力を

感染拡大を防ぐため、3密の回避やマスクの着用など「新しい生活様式」の徹底などに協力をお願いします。

自治会には どうやって入るの?

地域を知り、住みたいまち・住んで良かったと思えるまちづくりに携わってませんか。自治会への加入は、住んでいる地域の自治会長が同会役員を通じて受け付けています。自治会長などの連絡先は、市まちづくり推進課へ問い合わせを。

迅速な治療へ繋がります。

同院老年内科は、同専門医療機関の一つとして登録され、これまでも認知症の鑑別診断と初期対応を行ってきました。

また、同院は地域医療支援病院として高齢者救急を受け、認知症のある人の身体合併症の急性期治療に対応しています。

高齢者は入院中にせん妄(意識障害)を生じたり、認知症のある人では周辺症状が現れたりして身体疾患の治療に支障をきたすことがあります。

老年内科を中心とする多職種協働の認知症ケアチームがせん妄や周辺症状に対応しています。これらの実績が評価され、県知事の指定を受けました。

今後は認知症疾患医療センターとして、地域住民の皆さん、かかりつけ医などの医療機関や介護・福祉施設、地域包括支援センター、行政機関とよりいっそう連携を深めていきます。

認知症疾患医療センター ☎767・71119(月~金曜(祝・休日除く)の午前9時~正午、午後1~4時)。